

仕入価格高騰が継続、経費負担の増加により厳しさを増す

一部業種でさらなる値上げを要請されるなど、収益悪化を懸念

～景況DI値は、前年同月比0.1ポイント低下のマイナス31.6～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 8月鳥取県内の中小企業景況

売上(受注)高 製造業では、DI値前月比47.4ポイント低下のマイナス36.9、前年同月比21.1ポイント低下のマイナス47.4。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のプラス31.5、前年同月比15.9ポイント上昇のプラス21.1。

販売(受注)価格 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比同水準のプラスマイナス0。非製造業では、DI値前月比26.3ポイント上昇のプラス26.3、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス42.1。

収益状況 製造業では、DI値前月比31.5ポイント低下のマイナス36.8、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス42.1。非製造業では、前月比5.2ポイント上昇のプラス21.0、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス5.3。

資金繰り 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス5.2、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス26.3。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比同水準のマイナス10.5。

雇用人員 製造業では、DI値前月比10.6ポイント低下のマイナス15.8、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス15.8。非製造業では、前月比10.5ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比同水準のプラス5.2。

景況 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス26.3、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス42.1。非製造業では、前月比同水準のプラスマイナス0、前年同月比5.2ポイント上昇のマイナス21.1。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比1.9ポイント上昇のマイナス13.1、前年同月比0.1ポイント低下のマイナス31.6となった。製造業では、お盆期間の大型連休もあり、前月比DI値は売上高、収益状況はともに大きく低下した。また、引き続き原材料価格等の高止まりが継続しており、収益確保に苦慮している。非製造業では、大型連休にかけて祭りやイベントが開催され、人流が大幅に増加し観光関連を中心に前月に引き続き好調を維持した。下旬は台風10号の接近により一部旅館では宿泊キャンセルが相次ぐなど影響を受けた。県内景況は、全業種で原材料等仕入れ価格の高止まりが継続しており、経費負担の増加が収益を圧迫するなど厳しさを増している。また、一部業種ではさらなる値上げを要請されるなど、収益確保が一層困難となる状況が懸念される。このほか、物流関連を中心に人手不足(ドライバー不足)が深刻化しており、先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

8月の全国倒産は、件数746件で、(前年同月742件、0.5%増)と、28カ月連続で前年同月を上回った。8月としては、前年(742件)を超え、過去10年で最多となった。負債総額は927億5900万円(前年同月995億100万円、6.8%減)と、2カ月ぶりに前年同月を下回った。

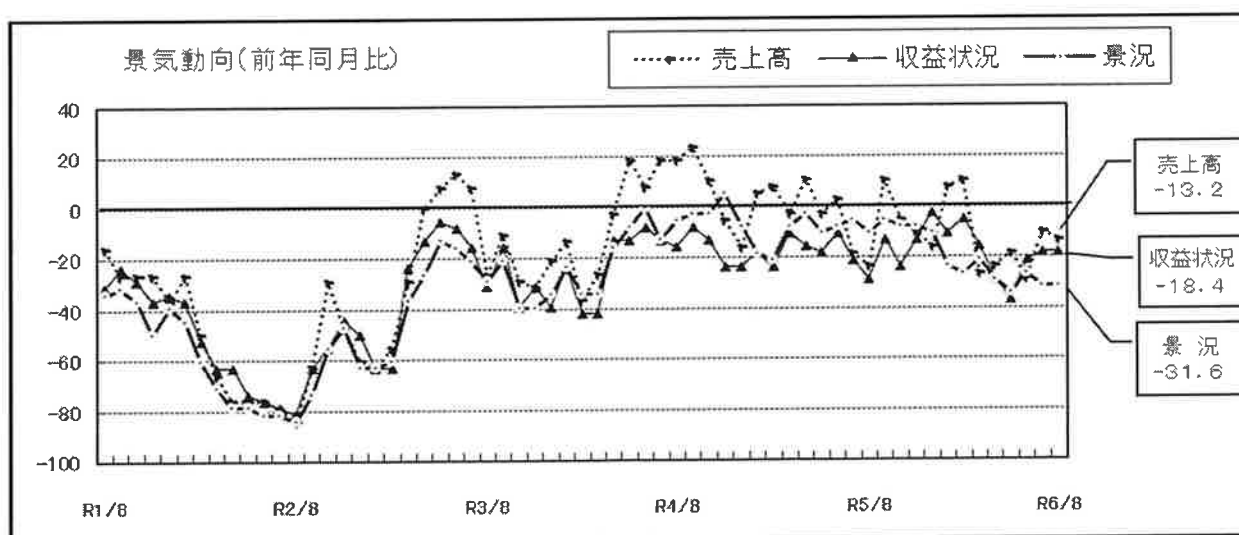
一方、8月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件(前月5件)、負債総額は2500万円(前月4億5600万円)であった。

3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報7月分」)

鳥取県の7月の有効求人倍率(パートを含む速報値)は1.25倍(季節調整値)(全国有効求人倍率は1.24倍)で、前月より0.03ポイント上回った。各所別有効求人倍率(原数値)では、鳥取所1.10倍、米子所1.36倍、倉吉所1.28倍。新規求人倍率(パートを含む速報値)は2.20倍(季節調整値)で、前月より0.16ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比1.1%減少し、有効求人数も5.8%減少となった。産業別に前年同月と比較すると、サービス業(12.2%)、建設業(8.0%)、医療・福祉(7.6%)、製造業(2.3%)、宿泊業・飲食サービス業(2.0%)で増加した。

新規求職者数は、前年同月比3.6%増加、有効求職者数は前年同月比4.5%増加となった。パートタイムの有効求人倍率(原数値)は1.08倍で、前年同月比で0.13ポイント低下、新規求人数は前年同月に比べ6.7%減少した。



8月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	10.5%	47.4%	-36.9 -47.4	52.6%	21.1%	31.5 15.8	31.6%	34.2%	-2.6 -15.8
(2)在庫数量	5.3%	15.8%	-10.5 -31.6	25.0%	8.3%	16.7 16.7	12.9%	12.9%	0.0 -12.9
(3)販売価格	10.5%	0.0%	10.5 5.3	31.6%	5.3%	26.3 26.3	21.1%	2.6%	18.5 15.9
(4)取引条件	0.0%	0.0%	0.0 0.0	0.0%	5.3%	-5.3 -5.3	0.0%	2.6%	-2.6 -2.6
(5)収益状況	0.0%	36.8%	-36.8 -31.5	36.8%	15.8%	21.0 5.2	18.4%	26.3%	-7.9 -13.2
(6)資金繰り	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	26.3%	10.5%	15.8 15.8	15.8%	10.5%	5.3 10.5
(7)設備操業度	5.3%	36.8%	-31.5 -26.2						
(8)雇用人員	0.0%	15.8%	-15.8 -10.6	10.5%	0.0%	10.5 10.5	5.3%	7.9%	-2.6 0.0
(9)景況	0.0%	26.3%	-26.3 5.3	26.3%	26.3%	0.0 0.0	13.2%	26.3%	-13.1 1.9

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	10.5%	57.9%	-47.4 -21.1	47.4%	26.3%	21.1 15.9	28.9%	42.1%	-13.2 -2.7
(2)在庫数量	5.3%	21.1%	-15.8 -21.0	25.0%	0.0%	25.0 33.3	12.9%	12.9%	0.0 0.0
(3)販売価格	15.8%	15.8%	0.0 0.0	47.4%	5.3%	42.1 15.8	31.6%	10.5%	21.1 8.0
(4)取引条件	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	5.3%	10.5%	-5.2 5.3	5.3%	13.2%	-7.9 2.7
(5)収益状況	10.5%	52.6%	-42.1 -15.8	21.1%	15.8%	5.3 15.8	15.8%	34.2%	-18.4 0.0
(6)資金繰り	5.3%	31.6%	-26.3 -15.8	5.3%	15.8%	-10.5 0.0	5.3%	23.7%	-18.4 -7.9
(7)設備操業度	10.5%	42.1%	-31.6 -10.6						
(8)雇用人員	5.3%	21.1%	-15.8 -5.2	10.5%	5.3%	5.2 0.0	7.9%	13.2%	-5.3 -2.6
(9)景況	5.3%	47.4%	-42.1 -5.3	10.5%	31.6%	-21.1 5.2	7.9%	39.5%	-31.6 -0.1

*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ 一時落ち着いていた鶏卵価格が再び上昇基調にある。エネルギー価格に加え、包装資材も値上げ要請がかかっている。

醤油 ⇒ 8月は猛暑日や台風の影響もあり低調な取引となった。業界全体としては円安の効果から北米、欧州、東南アジア向けの輸出が伸び国内の落ち込みを補っている。

【繊維工業】

繊維製品 ⇒ 人件費上昇や物価高騰の影響への対応として加工単価について価格転嫁を図りたいが、発注元の理解は得られにくい状況が続いている。わずかであるが、需要は増加傾向となっている。

ニット製品 ⇒ 衣料品の消費動向は低迷しており、輸入品による供給過剰体制は継続している。依然としてデフレ状態が継続しており、国内メーカーは仕事量の確保が困難となっている。

【家具装備品】

⇒ 物価高騰等の影響により運送コストをはじめとする経費負担の増加が続いており業況は厳しい。売上高は前月比で増加、前年同月比は減少で推移、収益状況は前月比、前年同月比ともに悪化となった。

【木材・木製品】

製材品 ⇒ 製材用素材の入荷量は前月比、前年同月比ともに増加となった。製材品の生産量は前月比で増加、前年同月比で同水準となった。中級程度の建築製材用素材の需要が伸びている。外材製品の大手メーカーが7月下旬より値上げを表明したことが要因と考えられるが国産材の価格には反映されていない状況となっている。全国的には非住宅や集合住宅の受注回復傾向となりつつあるため、本県の需要回復に期待が持たれる。プレカット加工の稼働率は前月比45%減少、前年同月比は30%減少で推移した。

【紙・加工品】

和紙 ⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。売上高は前月比、前年同月比ともに減少、収益状況も前月比、前年同月比ともに悪化となり、引き続き業況は厳しい。

【印刷】

⇒ 鳥取県の印刷業界は、伝統的な印刷からデジタル化への移行を進めており、一部で新たに金曜日を休業日とする事業所が見受けられた。この変更は労働環境の柔軟性を高める一方で、その影響を評価する必要がある。また、デジタル技術の導入に遅れる小規模企業に対する支援強化や、地方政府との連携を通じた持続可能な発展策の検討が求められる。地域固有のサービス提供や、イベントの促進も重要であり、業界全体の活性化に寄与する取り組みとなることに期待が持たれる。

【窯業・土石製品】

生コン⇒ 8月の生コン出荷量は、前月比で約9%減少、前年同月比で約14%減少となった。東部地区では昨年夏の豪雨に係る災害復旧工事案件が増えつつあるが、少量出荷や遠方の現場が多い上に大型案件が少なく仕事量と見合っていない。中部地区では前年割れが続く低調に推移しているが、9月、10月は前年程度の受注確保の兆しがある。西部地区では受注は年度当初低調であったが徐々に上向き傾向にあり、年内いっぱい堅調に推移する見込みである。業界として、若手人材の確保に苦慮している。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件は現状少なくなっている。価格転嫁も困難で、安値での競争により採算は悪化している。今後の物件も少なく、厳しい状況が続いている。県外物件を受注している会社との格差が広がっている。機械加工は、自動機関連の受注が堅調。自動車関連の受注に動きが出てきたが、相次ぐ不正による生産停止の影響が不安要素となっている。工作機械関係は相変わらず厳しい状況が続いている。人件費や諸経費の物価高騰が続いており、価格転嫁どころか低価格競争により、採算は益々厳しくなっている。

鉄骨加工⇒ 依然として人件費、運送代、溶接材料代、燃料代等高騰に対する価格転嫁は追い付いていない。年内は県内だけでなく、中国地方全般に物件数が少なくなる見込みであり、単価下落が懸念される。

金属熱処理⇒ お盆の大型連休の影響もあり前月比は落ち込んだが前年同月比は同水準となった。自動車、建設機械を中心として全般にものづくりが低迷している。電力、ガスなどの燃料費が製造コストを押し上げている。

【電気機械器具】

⇒ 中国経済の低迷に伴い製造も低迷が続いており、雇用や資金繰りに影響が出始めている。先行き不透明な状況が続いており回復の兆しが見えない。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、季節的な要因により前月比で取扱数量、売上高ともに増加となった。前年同月比では取扱数量がわずかに増加し売上高も増加となった。鮮魚関係では、前月比で取扱数量、売上高ともに増加となり、前年同月比でも取扱数量が増加し、単価の上昇により売上高も大幅に増加となった。株価の急激な下落、2年連続での最低賃金の大幅上昇など好材料が見当たらないうえ、川上の値上げを川下へ転嫁せざるを得ず、売上高が伸びても収益には反映されない。

中部地区⇒ 10月は最低賃金の引き上げに伴い助成金を活用した機器導入の問い合わせが見受けられた。人件費の負担軽減及び省力化による生産性向上を図る事業者が増えつつある。

西部地区⇒ 食料品、消耗品等の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見受けられる。人材確保が難しくなっているうえ、最低賃金の上昇による人件費上昇が懸念されている。日銀の利上げによる今後の影響が危惧される。

水産物⇒ 盆期の休市に加え、月末の台風の影響もあり、稼働日数が極端に少ない月となった。巻き網は小型のサバの中に極小サバ、極小アジ等も混じり始め、水揚げ魚種の交代が見受けられた。ワラサ、ハマチ類の水揚げもあったが豊漁とはならず近海の白いか等も不振で猛暑が続くなか鮮魚類の販売も不振で非常に低調な月となった。

リサイクル原料⇒ ペーパーレス化により古紙の発生が減少している。売上高は前月比、前年同月比ともに同水準で推移した。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取市の商店街では、8月は土曜夜市、しゃんしゃん祭り等の街区で開催されるイベントも通常通り実施され、多くの来場者で賑わった。個店の状況としては、仕入れ価格の高騰を一定程度販売価格に転嫁できており、昨年度に対し売上は増加しているものの、経費負担の増加が続いており収益の状況はさほど好転していない。一向に原料高、光熱費、人件費等経費負担の増加は改善されず厳しさが増しているうえ、消費者の財布は固く、節約志向となり消費マインドが低下している。宿泊は、観光、インバウンド等で好調を維持している。飲食は、昼間は以前より回復傾向となっているものの、まだまだ夜の団体客が少なく厳しい。

中部地区⇒ 倉吉市の商店街では、8月3日、4日に毎年恒例の倉吉打吹まつりが開催され大いに賑わいを見せた。3日は倉吉銀座商店街を歩行者天国として「みつぼし踊り」、4日は天神川倉吉大橋下の河川敷で舞台イベント、花火大会が実施され大変賑わった。お盆後も帰省客や観光客が訪れたが、倉吉銀座商店街への入り込みにはつながらなかった。

西部地区⇒ 米子市の商店街では、お盆を挟み人流が増加し、個店への集客数が伸びた。がいな祭りの同日に元町パティオではまちなか音楽祭を開催。去年にはなかった屋根を設置したことで過ごしやすくなり、来場者から好評を得た。

境港市の水産物小売では、お盆期間の帰省客、観光客が増加したことで水産物販売施設の売上は前月比で増加した。底曳網、カニ漁は休漁日となり鮮魚の売上は停滞したものの、土産物店、飲食店の売上は増加した。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、猛暑となったものの入込数は増加傾向で推移した。お盆期間の入込数は大幅に増加し、その後も好調に推移した。月末は台風10号の接近も影響し、4日間ほど観光客の入込数が激減した。結果として売上高は前月比で倍増、前年同月比で増加となった。

米子市のホテル・旅館では、8月は天候に恵まれ売上高は前月比で増加となった。宿泊者数は前年と同水準となった。原材料費、燃料費等、高騰しているものの、価格への転嫁ができていく。人材確保面では、依然として人手不足が続いており厳しい状況。

三朝温泉では、本格的な夏休みシーズンとなり入込数が増加した。お盆期間はほとんどの旅館で予約が埋まり、お盆後も多くの宿泊者が見受けられた。最終週は台風10号が接近し、その影響が懸念される中、人的被害はなかったものの、JRや飛行機等の運休により、宿泊キャンセルが多く発生した。

羽合温泉では、8月の宿泊は前月比は1.5倍に増加、前年同月比で微増となった。例年より長い盆休みとなったこともあり、宿泊客数が大きく増加した。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車・軽自動車を合わせて1,758台で前月比は普通車31.2%、軽自動車9.6%の減少、前年同月比は普通車15.0%、軽自動車8.8%の減少であった。中古車は普通車・軽自動車を合わせて591台で前月比14.1%、前年同月比1.8%の減少であった。継続検査（軽自動車を含む）は12,651台で前月比22.1%、前年同月比15.3%の減少であった。

【建設業】

⇒ 7月の県内公共工事発注(西日本建設業保証株保証取扱)は、請負金額134億円(前年同月比25.7%増)、件数223件(同21.2%増)となった。年度累計(令和6年4月～令和6年7月)は、請負金額430億円(前年同月比21.0%増)、件数754件(同19.7%増)となった。公共投資は4か月連続の前年同月比プラスとなった。設備投資は単月、3か月平均ともに連続で前年同月比プラスとなった。住宅投資は貸家系ではプラスが続くが持家系ではマイナスが続く。資材価格の高止まりや住宅関連を中心とした民需の不振は継続するも、堅調に推移する公共工事が下支えしている状況が続いている。働き方改革により人件費、輸送費等のコストの増加が収益を圧迫しており、適正価格の協議を図るも改善には至っていない。

7月の鳥取県新設住宅着工戸数は232戸(持家131戸、貸家101戸)で、前月比6%減少、前年同月比20%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 8月の物流は、製造業の輸送量が概ね横ばいではあるものの、猛暑などの影響で農作物の出荷量が極めて少なく、全体の輸送量としては減少した。復路荷物の情報量は前月比では微増だが、荷物の不足傾向は続いている。大型連休となったお盆も絡んだことで、稼働日数の減少から売上高は前月比、前年同月比ともに減少となった。燃料価格や人件費などの高騰は依然として輸送コストの増加をもたらしており、慢性的なドライバー不足の問題も続き、今後も厳しい状況に変わりはない。

西部地区⇒ 8月の燃料価格については、為替動向の円高及び原油価格の低下により、前月に続き低下した。配車事業、燃料事業、高速事業について、受注が大幅減少したため売上の伸び悩みが続いている。特に農産物運送関連、鮮魚運送関連については、生産者の減少及び鮮魚漁獲量落込みのため苦戦を強いられている。県外大手業者の台頭により業界自体の図式が変化しているうえ、好条件企業への転職が増加するなど引き続きドライバー不足が深刻化している。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・業界全体のデジタル変革を推進する政策的支援を求める。【印刷業】
- ・大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・景気回復に寄与する政策を打ち出してもらいたい。【商店街】
- ・県立美術館開館に向けた取り組み及びねりんピックへのコラボイベントの支援を望む。【商店街】

最近の指標の前月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売上高	製造業	-63.1	5.2	10.5	-10.5	26.3	-15.8	-10.5	-5.3	-15.7	-26.3	5.3	10.5	-36.9	26.2
	非製造業	26.3	-26.3	21.0	31.6	-10.5	-36.8	15.8	57.9	-15.8	15.8	-31.6	15.7	31.5	5.2
	全業種	-18.4	-10.5	15.8	10.5	7.9	-26.3	2.6	26.3	-15.8	-5.3	-13.1	13.2	-2.6	15.8
在庫数量	製造業	-10.6	-21.1	-15.8	-5.2	-31.6	0.0	-5.2	-10.5	-15.8	10.5	-5.2	21.1	-10.5	0.1
	非製造業	-8.3	8.4	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	8.3	-8.3	0.0	16.7	25.0
	全業種	-9.6	-9.6	-16.1	-3.2	-12.9	0.0	0.0	-3.2	-3.2	9.7	-6.5	12.9	0.0	9.6
販売価格	製造業	-15.8	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	5.3	10.5	5.2	0.0	-5.2	0.0	5.2	10.5	26.3
	非製造業	31.6	-5.3	0.0	42.1	36.8	0.0	10.5	0.0	21.1	21.1	15.8	0.0	26.3	-5.3
	全業種	7.9	-10.5	-7.9	18.4	15.8	2.6	10.5	2.6	10.6	7.9	7.9	2.6	18.5	10.6
取引条件	製造業	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	0.0	0.0	0.0
	非製造業	-5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	-5.3	-10.5	-5.3	0.0	-5.3	0.0
	全業種	-2.7	-2.7	-2.7	-2.7	0.0	-2.6	0.0	0.0	-7.9	-10.5	-5.3	0.0	-2.6	0.1
収益状況	製造業	-47.3	-31.5	-10.5	-15.8	10.5	-21.1	-15.8	-10.6	-21.1	-31.6	0.0	-5.3	-36.8	10.5
	非製造業	21.0	-21.0	26.3	26.3	0.0	-31.5	15.8	31.6	-10.6	-5.3	-21.0	15.8	21.0	0.0
	全業種	-13.1	-26.3	7.9	5.2	5.2	-26.3	0.0	10.6	-15.8	-18.4	-10.5	5.3	-7.9	5.2
資金繰り	製造業	-21.1	-15.8	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	5.2	-10.5	-5.2	15.9
	非製造業	-5.3	-26.3	0.0	10.5	-10.5	-26.3	0.0	15.8	-5.2	0.0	-15.8	0.0	15.8	21.1
	全業種	-13.1	-21.1	-5.3	2.6	-5.2	-15.8	-10.6	2.6	-7.9	-5.3	-5.2	-5.2	5.3	18.4
設備操業度	製造業	-36.8	-10.5	-5.3	-10.5	15.8	-15.8	-5.3	0.0	-10.6	-10.6	5.3	-5.3	-31.5	5.3
雇用人員	製造業	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-5.2	5.3	-5.2	-15.8	5.3
	非製造業	10.5	-10.5	0.0	5.3	0.0	-15.8	0.0	15.8	5.3	10.5	-10.5	0.0	10.5	0.0
	全業種	-5.2	-10.5	-5.3	-2.7	0.0	-15.8	-5.3	2.6	0.0	2.6	-2.6	-2.6	-2.6	2.6
景況	製造業	-52.6	-31.6	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-26.3	-10.5	-15.8	-31.5	-15.8	-31.6	-26.3	26.3
	非製造業	21.1	-5.3	10.5	15.8	0.0	-36.8	0.0	31.5	0.0	-5.3	-31.5	0.0	0.0	-21.1
	全業種	-15.8	-18.4	-7.9	0.0	-5.3	-26.3	-13.1	10.6	-7.9	-18.4	-23.6	-15.0	-13.1	2.7

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2023年												2024年	前年との増減幅
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
売上高	製造業	-52.7	-15.8	-36.8	-26.3	-15.7	-15.8	-26.3	-42.1	-47.4	-31.6	-26.3	-26.3	-47.4	5.3
	非製造業	5.3	36.9	26.3	5.2	-15.8	31.6	47.4	-10.5	0.0	-5.2	-31.5	5.2	21.1	15.8
	全業種	-23.6	10.5	-5.3	-10.5	-15.8	7.8	7.8	-26.3	-23.7	-18.4	-28.9	-10.5	-13.2	10.4
在庫数量	製造業	-21.0	-21.1	-26.3	-26.3	-31.6	-21.1	-15.8	-26.3	-10.5	-5.2	0.0	5.2	-15.8	5.2
	非製造業	-8.3	8.3	-8.3	8.3	16.7	16.7	16.7	25.0	0.0	8.3	-8.4	-8.3	25.0	33.3
	全業種	-16.2	-9.7	-19.4	-12.9	-12.9	-6.4	-3.2	-6.4	-6.4	0.0	-3.2	0.0	0.0	16.2
販売価格	製造業	5.2	0.0	5.2	5.3	5.3	5.3	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	-5.2
	非製造業	57.9	47.3	42.1	52.6	47.3	42.1	47.3	52.6	47.4	47.4	31.6	26.3	42.1	-15.8
	全業種	31.6	23.6	23.7	28.9	26.3	23.7	21.0	23.7	23.7	21.1	13.1	13.1	21.1	-10.5
取引条件	製造業	-15.8	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-5.2	-10.5	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	5.3
	非製造業	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	-15.8	0.0	-5.3	0.0	-10.5	-5.2	10.6
	全業種	-15.8	-13.2	-13.2	-15.8	-7.9	-13.2	-2.6	-13.2	-5.3	-10.6	-5.2	-10.6	-7.9	7.9
収益状況	製造業	-57.9	-47.3	-52.6	-26.3	0.0	-26.3	-36.8	-21.1	-36.9	-42.1	-21.0	-26.3	-42.1	15.8
	非製造業	0.0	21.0	5.3	0.0	-5.3	5.3	26.3	-10.5	-21.1	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	5.3
	全業種	-29.0	-13.1	-23.6	-13.1	-2.6	-10.5	-5.2	-15.8	-29.0	-36.9	-21.0	-18.4	-18.4	10.6
資金繰り	製造業	-26.3	-31.5	-21.0	-15.8	-15.8	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-10.5	-10.5	-26.3	0.0
	非製造業	-21.0	5.3	0.0	-10.5	-5.3	0.0	0.0	-15.8	-10.5	-31.5	-21.1	-10.5	-10.5	10.5
	全業種	-23.6	-13.2	-10.5	-13.1	-10.5	-15.8	-18.4	-21.1	-21.0	-26.3	-15.8	-10.5	-18.4	5.2
設備操業度	製造業	-52.6	-31.5	-36.8	-31.6	-10.5	0.0	-10.6	-21.1	-31.5	-26.3	-5.3	-21.0	-31.6	21.0
雇用人員	製造業	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-31.6	-26.3	-21.1	-10.5	-15.8	-26.3	-10.6	-15.8	5.3
	非製造業	-5.3	-10.5	-5.2	-15.8	-5.2	0.0	-5.2	5.2	-5.2	5.2	-15.8	5.2	5.2	10.5
	全業種	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-5.3	-15.8	-15.8	-7.9	-7.9	-5.3	-21.0	-2.7	-5.3	7.8
景況	製造業	-36.8	-26.3	-26.3	-21.0	-21.1	-31.6	-42.1	-21.1	-36.8	-31.6	-21.1	-36.8	-42.1	-5.3
	非製造業	15.8	15.8	10.5	5.3	0.0	-15.8	-10.5	-21.1	-21.1	-36.8	-31.6	-26.3	-21.1	-36.9
	全業種	-10.5	-5.2	-7.9	-7.9	-10.5	-23.7	-26.3	-21.1	-28.9	-34.2	-26.3	-31.5	-31.6	-21.1

情報連絡員報告総括表(令和6年8月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名

回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況					
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化			
食料品	0	1	1	0	0	2	0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	2	0		
繊維工業	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	3	0	
木材・木製品	2	0	2	1	3	0	1	3	0	0	4	0	2	2	0	2	0	2	1	2	1	0	4	0	0	0	2	2	2	
紙・紙加工品	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	
出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	2	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	0	
化学ゴム																														
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	
鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	2	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	
一般機器	0	1	2	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																														
その他																														
19	2	8	9	1	15	3	2	17	0	0	19	0	0	12	7	1	16	2	1	11	7	0	16	3	0	14	5	5	5	
100%	10.5%	42.1%	47.4%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	89.5%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	63.2%	36.8%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	57.9%	36.8%	0.0%	84.2%	15.8%	0.0%	73.7%	26.3%	26.3%		
卸売業	2	4	0	0	5	1	2	4	0	0	6	0	0	6	0	1	5	0	0	0	0	0	6	0	0	5	1	1	1	
小売業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	
商店街	2	1	1	2	2	0	1	3	0	0	3	1	1	2	1	0	3	1	0	0	0	0	4	0	0	1	2	1	1	
サービス業	4	0	1				2	3	0	0	5	0	4	0	1	3	2	0	0	0	0	1	4	0	3	1	1	1	1	
建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	
運輸業	0	0	2				0	1	1	0	2	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	0	1	
その他																														
19	10	5	4	3	7	1	6	12	1	0	18	1	7	9	3	5	12	2				2	17	0	5	9	5	5	5	
100%	52.6%	26.3%	21.1%	25.0%	58.3%	8.3%	31.6%	63.2%	5.3%	0.0%	94.7%	5.3%	36.8%	47.4%	15.8%	26.3%	63.2%	10.5%				10.5%	89.5%	0.0%	26.3%	47.4%	26.3%	26.3%		
38	12	13	13	4	22	4	8	29	1	0	37	1	7	21	10	6	28	4	1	11	7	2	33	3	5	23	10	10		
100%	31.6%	34.2%	34.2%	12.9%	71.0%	12.9%	21.1%	76.3%	2.6%	0.0%	97.4%	2.6%	18.4%	55.3%	26.3%	15.8%	73.7%	10.5%	5.3%	57.9%	36.8%	5.3%	86.8%	7.9%	13.2%	60.5%	26.3%	26.3%		

情報連絡員報告総括表(令和6年8月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備稼働度		雇用人員		業界の景況								
	増加	減少	増加	減少	上昇	低下	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	低下	増加	減少	好転	悪化							
食料品	1	0	0	2	1	0	0	2	0	0	1	0	1	1	0	2	0	1	0						
繊維工業	1	1	0	3	1	2	0	1	2	0	1	2	1	1	1	2	0	0	2						
木材・木製品	0	1	3	0	0	4	0	0	1	3	0	2	0	3	0	3	1	0	3						
紙・紙加工品	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0						
出版・印刷	0	1	0	2	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0	2	0	0	2						
化学コム																									
窯業・土石製品	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0						
鉄鋼・金属	0	1	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2						
一般機器	0	2	1	0	3	0	1	0	3	0	0	3	0	0	0	2	1	0	3						
電気機器	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1						
輸送用機器																									
その他																									
19	2	6	11	1	14	4	3	13	3	2	7	10	1	12	6	2	9	8	1	14	4	1	9	9	
100%	10.5%	31.6%	57.9%	5.3%	73.7%	21.1%	15.8%	68.4%	15.8%	10.5%	36.8%	52.6%	5.3%	63.2%	31.6%	10.5%	47.4%	42.1%	5.3%	73.7%	21.1%	5.3%	47.4%	47.4%	
卸売業	2	3	1	0	6	0	3	3	0	1	5	0	0	6	0	0	6	0	0	6	0	0	6	0	
小売業	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
商店街	2	1	1	2	2	0	2	2	0	4	0	0	3	1	0	4	0	0	3	1	0	4	0	3	
サービス業	3	1	1	1	1	2	0	3	2	2	1	4	0	2	2	2	1	2	1	2	2	1	2	1	
建設業	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	
運輸業	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	1	1	0	1	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2	
その他																									
19	9	5	5	3	8	0	9	9	1	16	2	4	12	3	1	15	3	2	16	1	2	16	1	2	11
100%	47.4%	26.3%	26.3%	25.0%	66.7%	0.0%	47.4%	47.4%	5.3%	84.2%	10.5%	21.1%	63.2%	15.8%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	84.2%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	57.9%	31.6%
38	11	11	16	4	22	4	12	22	4	2	31	5	6	19	13	2	27	9	8	3	30	5	3	20	
100%	28.9%	28.9%	42.1%	12.9%	71.0%	12.9%	31.6%	57.9%	10.5%	81.6%	13.2%	34.2%	50.0%	50.0%	34.2%	5.3%	71.1%	23.7%	10.5%	78.9%	13.2%	7.9%	52.6%	39.5%	